

## (別紙)

様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回 美幌町都市計画審議会
開 催 日 時	令和6年3月28日(木) 15時00分 開会 16時15分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場 第1会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 味噌一郎、藤井幸夫、千葉正美、中川寿一、宮田博行、高橋清、 稲垣淳一、横山清美、宮崎奈津江、渡辺齊、大河原芳之
欠 席 者 氏 名	馬場博美
事務局職員職氏名	遠國建設部長、森口建設課長、宮田建築主幹、中村都市整備G主査
議 題	<b>1 開会</b> <b>2 会長挨拶</b> <b>3 会議録署名委員の指名</b> <b>4 議案</b> 第1号 都市計画マスタープランについて 第2号 立地適正化計画について <b>5 その他</b> <b>6 閉会</b>
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名(報道機関)
資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来都市像と目標</li> <li>・全体構想</li> <li>・誘導施設と誘導施策</li> <li>・企業立地意向調査の結果</li> </ul>
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
遠國部長	<p><b><u>1 開会</u></b></p> <p>・開会挨拶</p> <p><b><u>2 会長挨拶</u></b></p> <p>・会長挨拶</p> <p><b><u>3 会議録署名委員の指名</u></b></p>
味噌会長	<p>続きまして、会議録署名委員を指名させていただきます。 藤井委員、千葉委員ご二人にお願いしたいと思います。よろしくお願 いします。</p> <p><b><u>4 議案</u></b></p>
中村主査	<p>（資料（将来都市像と目標、全体構想）に基づき内容説明）</p>
味噌会長	<p>只今、事務局から説明がありましたが、質問などありますか。まちが 収斂し、人口も含めてやせ細っていく中、都市としての建物や、市街地 が縮んでいかないということが、歪な形となり、不便さが増していくこ とになるため、結局のところ、人口に併せて、まちも痩せていかなけれ ばならないと理解していますが、いかがでしょうか。</p> <p>意見がなければ、議案第2号の説明をお願いします。</p>
中村主査	<p>（資料（誘導施設と誘導施策、企業立地意向調査の結果）に基づき内 容説明）</p>
味噌会長	<p>只今、事務局から説明がありましたが、質問などありますか。</p>
宮田委員	<p>美幌建設業協会として町に要望している中、大正橋の件ですが、先程 説明のありました、橋梁の架け替えを見据えた都市計画道路の変更とい うことで、旭通からまっすぐ行くとT字路になるところは、建設業協会 でも上流に橋を新設することを要望していたのですが、直接北見に至る 道道へ繋がるということで。一方で、この書き方ですと、架け替えとさ れており、大正橋を壊してしまうようなイメージなのかと感じましたの で、主旨を確認したいです。我々としては、上流部に橋を新設し、大正 橋自体はパークゴルフ場やスケートリンク場へ向かう中、町道として残 すべきと要望していたので、その辺のお考えをお聞きしたかったです。</p>
中村主査	<p>まだ具体的な話は進んでいません。ただし、今まで全く進んでいなかっ たものが、少し前向きに協議は進み始めたという段階です。この路線は、 色々な課題を整理しなければいけないため、手法については、まだまだこ</p>

	<p>れからというところです。</p>
宮田委員	<p>なんとなく理解します。長寿命化もなされていたと思いますし。</p>
森口課長	<p>橋を、今の架かっている場所から変更しようとする、と、街路決定の変更も出てくるため、時間は相当かかるものと思われま。そうなる、住民との同意も求められますが、今説明のあったとおり、北海道も話を聞いていただけるようになってきたため、まずは道道昇格が一番ではないかと、その後に架け替えの協議になるものと考えています。</p>
味噌会長	<p>私が都市計委員の引継ぎを受けたときにも、前任者から旭通、大正橋のことを頼むと言われていました。交通安全上、非常に危険なので、何とか安全面も考慮していただいて、道路のレイアウト含めて検討いただければと思います。</p>
横山委員	<p>今の話にも関連するのですが、工業団地や稲美地区の用途を拡張することによって、工場や店舗が新たに張り付くことになる、と、工業団地もほとんど物流関係になる、と、思いますので、道路の問題が一番重要視されてくる、と、思います。現状でも、旭通と国道の交差点は、信号も曲がり切れな、くらい停車している状況からすると、やはり道路の整備、大正橋にも繋がってくる、と、思いますので、その辺も計画の中にちゃんとした形で入れていく必要がある、と、思います。ただ、用途を拡張しただけでは、その後どうするのか、という話にもなるため、その辺も考えていかなければ、ならない、と、思いますので、ご検討の程よろしく、お願いします。</p>
中村主査	<p>中川委員からもご意見も頂きたい、と、思いますが、道路の整備要望にあたっては、交通事業者のヒアリングも必要、と、感じている、と、ころです。</p>
中川委員	<p>国道240号を津別方面から市街地に、来た時に、目には見えないですが、下り勾配になっていて、思うように停まれない、と、か、右折して美幌峠に行こうとした時に、信号の関係で、交差点まで車が滞留して、いて曲がり切れな、ということが、課題として、ありました。これは信号の問題で、管轄は交安となりますが、そういう特性もありながら、幸いにも今まで大きな事故は起きて、いませんが、地域の商店街の方からは、あそこ、の交差点を何とかして、ほしい、と、いうことは、従来から、言われて、きて、おりました。町も含めて開発局へ要望は、して、きて、いますが、実は、開発局の方でも、技術的には、非常にコストのかかる、難しい、工事になる、ことは、間接的に、伺った、ことは、あります。交通安全上の課題は、以上、となりますが、商店街の方からの要望がある、ことは、事実、です。</p>
中村主査	<p>国道交差点改良により、大正橋の交通量緩和にもつながる、と、のではない、か、というお話も、伺って、おり、どこまで、計画に、取り、込める、か、という、ところ、ですが、まさに、セットで、検討、すべき、事案、と、考えて、います。</p>
宮崎委員	<p>4つほど。まず、都市計画の目標が素晴らしく、こんなまちになれば、いい、と、思いました。私も委員になりましたので、頑張って、歩こう、と、思</p>

	<p>って、毎日歩くようにしているんですが、やっぱりお家も駐車場も広いので、全体的にまちが間延びしている印象を持ちます。都会を歩くと、家と家が近く、見ていると楽しいし、小さい家ほど緑を大切に、庭づくりをきちんとしていると思いました。行政だけがするだけではなく、まち並みをまちの人がつくるような気持ち、意識の高さのあるまちが、やっぱり良いまちであるという印象で、それがセットなのかなと思いました。今の若い方は、新しい家を建てても、お仕事が忙しく、家も効率化から庭をつくらない家庭が非常に多く見られます。ご高齢のお家は庭を綺麗にしている方が多いと思いますが、その方たちがいなくなってしまうと、雑草だらけになって、ただの家になってしまう事を最近まちなかを歩いて、危惧していることとして感じたところです。2つ目は、以前小学校に赴任された校長先生と共済の保険をされている方が言われていたのですが、学校の先生はあちこちに転勤されているので、色んなまちを知っている学校の先生に認められるまちは、本物なんだと言われていて、先生の意見も聞いたらいいよと言われてました。まちの人がいくら良いと言っても、客観視できていない部分もあると思うので、そういう方にも協力いただき、客観的な評価の参考にしてはどうかと思いました。付随しますが、美幌高校で地域みらい留学のお子さんは、車がないので全部まちへの移動は徒歩です。都会だと3キロくらい歩いて、疲れを感じたら、そこにカフェや公園、ちょっと座る場所もありますが、まちなかにそういう場所がないと、ひたすら歩くことになりますから、そういう方の意見も参考になるのではと思いました。もうひとつは、子どもなんですけれども、例えば北中からスポーツエリアまで、高校も全部坂道なので、子どもたちは必至で自転車に乗ったり、歩いたりしてますので、その辺りのご意見も聞いてみてはと思いました。</p>
味噌会長	<p>北見工大の高橋先生から総括的な一言含めてお願いします。</p>
高橋委員	<p>感想含めて、何点かお話しさせていただきます。今日の配布された資料は大変薄いんですが、色々考えなければならぬポイントがある資料だと思って聞いておりましたし、特に計画の中心となる将来像というところを皆さんで議論することは、すごく大事なことと感じました。いくつかお話しさせていただきたいんですが、今宮崎さんからも話のあったところで、それを含めてお話しさせていただきたいと思います。最初に会長の話の中で、都市の縮退の話がされました。人口が減っているのにまちの規模は逆に拡大しているのではないかと、皆さんもご存じのとおり答えは車ですよ。車に乗っている限り、都市は拡大していきます。それをどうするのかというのが、今回の計画の大きなメッセージだと思っておりまして、まさに歩いて暮らせる便利なまちをつくるんだという、ここのところを一番に持ってきていただいているので、ここをしっかりと町民の方にメッセージとして、発信していくべきだと思います。今年の夏に、パリでオリンピックがあり、そこで紹介されるかわかりませんが、パリは今、15分都市というものを市長が計画しています。歩いて15分。ただ歩いているだけではダメなので、ここに書いてあるようにゼロカーボン含めて、自転車が大事で、自転車のルートを整備しています。美幌町ももしかすると、歩いて暮らせる便利なまちで全て片付くわけで</p>

はありませんので、そうなってくると車も当然必要だと思いますし、車は賢い使い方をすべきと思いますが、冬もあります、自転車をより使いやすいまちにするということが必要になってくると思います。その時には、自転車活用推進計画のようなものを町でしっかりつくる必要かと。いずれにしてもメッセージをしっかり発信していくことが大事だと思います。2つ目は、今回特に重要なのが、都市計画マスタープランと立地適正化計画を同時に考えなければならないことです。たぶん流れを見ると、マスタープランと立地適正化計画は合本されて出てくると思います。他の市町では、2つの計画は別々になっていますが、今回それを一緒にすることで、色々見えてくること、やらなければならないことが、わかる計画になりますので、かなりチャレンジングな計画となりますが、しっかりやっていただきたいと思いました。その時に重要なのは、メッセージも大事ですが、そのメッセージに裏付けられた政策のところですね。どうやって実行していくのか。何を行政としてやるのか。先ほどからお話のある、行政だけでは当然できないので、民間の人たちもどうやって協力していくのか、今共働という言葉を使いますが、そういったところを庁内で議論されていると思いますので、政策とメッセージをいかに繋げていくのかというところを、しっかり描いていただきたいと思いました。3点目は、宮崎さんのお話と重複するところはありますが、やはり住んでいる方たちのまちに対する思い、都市計画への思いをどこまで高めていくことができるのかというところが、最後の肝になると思います。最近建築で言われているのは、パブリックライフという言葉を使います。パブリックライフとは、公共の生活なんです、家を一歩出て、出会うすべての出来事をパブリックライフと言って、自分の家を出たときに、他人の家の前や道路も通り、風景も見ます。いかにパブリックライフを充実させるかということが、これからのまちづくりだと言われています。まさに美幌町は、先程話題となった橋も通ってきましたが、今日は山がきれいで、知床連山含めて全部見え、周りの風景が充実していると思います。後は、内部をいかに綺麗にしていくのか、それは行政がただ草を植える、庭をつくる、ポケットパークをつくるということではなく、そこに住んでいる人が、パブリックライフとしてまちに関わっていけるのかという、そのところをしっかりとやらなければならないなと思いました。全て恵庭市恵み野のように、庭をつくれということではなく、少しでもパブリックライフとして、意識が外に向けば色んな形で変わってくることもあると思います。細かい話になりますが、都市の将来像はいいと思いますが、美幌の美と絡んでいることが強調され、美しいまちにポンと落ちないようにして頂きたいと思います。校内清掃の美化作業で綺麗にするとは訳が違うので、ポイントは前にある自然と地域と人が共生する、なおかつ美しいまちになっているんだと。多分、共生ってすごく難しいんですよ。ある意味、人が無理をして、我慢をしなきゃいけないところが、自然と共生するときにはあると思いますが、それでもなおかつ最終的には、美しいまちを目指すんだという、メッセージがしっかりと伝わるようにした方が良くと思いました。もっと細かいところというと、都市計画の目標のうち、防災の目標の読点の位置は、高め合うの後であるべきだと思いますので、今後検討いただければと思います。最終的には、別冊1のこの部分が、計画のメッセージに

味噌会長

なるので、しっかり町民の方に伝わるようにして頂きたいと思います。  
以上です。

ありがとうございました。ほかに委員の皆さんからご意見もあれば発言  
いただきたいのですが。

(意見なし)

味噌会長

## 6 閉会

それでは時間も経ちましたので、このあたりで審議会を閉じさせてい  
ただきたいと思います。

先生の話と宮崎さんと話をお聞きすると、学生時代の授業を思い出し  
ました。PRという言葉があつて、宣伝するとか知らせるという認識か  
と思いますが、実際にはパブリックリレーション、公衆関係と訳しま  
すが、住民が常にコミュニケーションを取り合つて、何かあれば協力し、  
相談できる、地域の間人社会がより緊密で情報共有できるというまちで  
あり、そういうまちは、住みたくなるまち、移住したくなるまちになる  
可能性があると思います。一度に人口が増えるなんてことはありえない  
ので、ここに住みたいな、あのまちは良い町だから行ってみたいなど思  
われるようなまちのデザインをできるように、実務を担当される方にも  
頑張っていたきたいですし、今日ここにいらっしゃる皆さんが、その  
ことを意識しながら望んでいただけたらと思います。これからも長丁場  
となりますが、ご協力をいただけるようお願いして、本日の会議を閉じ  
させていただきます。

以上をもちまして令和5年度第2回都市計画審議会を閉会いたしま  
す。お疲れ様でした。

会議録署名委員

藤井 幸夫

千葉 亜美